

# 記載例

## 景観配慮チェックシート(藤川地区景観形成重点地区)

景観形成重点地区内のため、景観配慮指針に沿った設計に努めてください。

|       |          |             |
|-------|----------|-------------|
| 行為の場所 | 岡崎市藤川町〇〇 | 行為の場所の住所を記載 |
|-------|----------|-------------|

### 景観配慮指針

| 項目           |       | 推奨配慮指針（自主配慮）                                                            | チェック欄                                                | 具体的配慮事項又は<br>配慮できない理由等                               | 照合<br>※           |
|--------------|-------|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------|
| 建築物及び工作物     | 高さ    | □周辺のまちなみと調和するよう、周囲から突出しない高さとするよう努める。                                    | <input checked="" type="checkbox"/> はい □いいえ<br>□該当なし | 計画敷地周辺の建築物と同程度の高さとした。                                |                   |
|              | 位置配置  | □旧東海道に面する建築物等の壁面の位置は、歴史的な建造物等にできるだけそろえ、まちなみが連続するよう努める。                  | □はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ<br>□該当なし | 敷地前面に駐車スペースを設けるため、壁面の位置を揃えられない。                      |                   |
|              |       | □やむなく、建築物等を後退して建築する場合や、駐車場等の空地の場合は、道路沿いに門、塀、生垣等を設け、まちなみの連続性を損なわないよう努める。 | <input checked="" type="checkbox"/> はい □いいえ<br>□該当なし | まちなみの連続性を損なわないように生垣を設けた。車の出入り部分は門を設けた。               |                   |
|              | 形態意匠  | □屋根の形状は、勾配屋根を基本とし、歴史的な建造物と調和するよう努める。（旧東海道に面する建築物は平入りとする等）               | <input checked="" type="checkbox"/> はい □いいえ<br>□該当なし | 平入の勾配屋根とした。                                          |                   |
|              |       | □壁面及び屋根の素材は、周辺のまちなみと調和するよう、落ち着いた質感を基本とし、自然素材を用いるよう努める。（木材、石材及び瓦を用いる等）   | <input checked="" type="checkbox"/> はい □いいえ<br>□該当なし | 地元産の木材を外装材として用いる。                                    |                   |
|              |       | □色彩                                                                     | □壁面及び屋根の色彩は、周辺のまちなみと調和するよう、低彩度の落ち着いた色彩となるよう努める。      | <input checked="" type="checkbox"/> はい □いいえ<br>□該当なし | 壁面及び屋根に低彩度の色を用いる。 |
|              | 屋外設備等 | □屋外に設ける設備（空調機器の室外機等）は、道路等の公共空間から直接見えにくい場所に配置するよう努める。                    | <input checked="" type="checkbox"/> はい □いいえ<br>□該当なし | 室外機は公共空間から見えない配置計画とした。                               |                   |
|              |       | □やむをえない場合は、建築物等との調和に配慮し、植栽や木製部材で囲うか色彩を工夫するよう努める。                        | □はい □いいえ<br>□該当なし                                    | 公共空間から見える配置となる場合、色を壁面等とあわせ、目立たなくさせる。                 |                   |
| 道路空間         |       | □利用者が安心して利用できる快適性と、道路舗装の工夫等により沿道のまちなみを引き立てる潤いのある道路空間の創出を図る。             | □はい □いいえ<br><input checked="" type="checkbox"/> 該当なし |                                                      |                   |
| その他景観に配慮したこと |       | 設計上特に配慮した点、照明計画、まちなみと調和した植栽計画など                                         |                                                      |                                                      |                   |

必ずどれかにチェック

市チェック

「はい」か「いいえ」にチェックした場合は必ず記載

※「具体的配慮事項又は配慮できない理由等」記載文章は特定の敷地に対する文言ではありません。